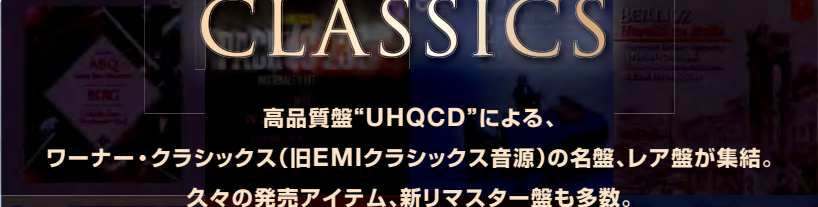
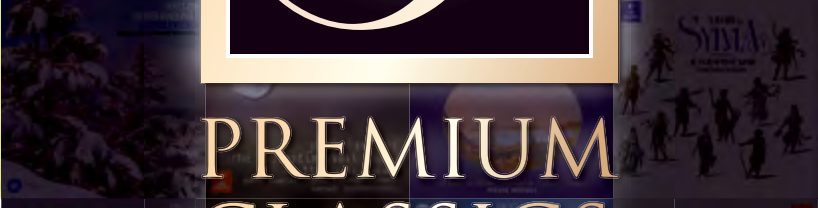
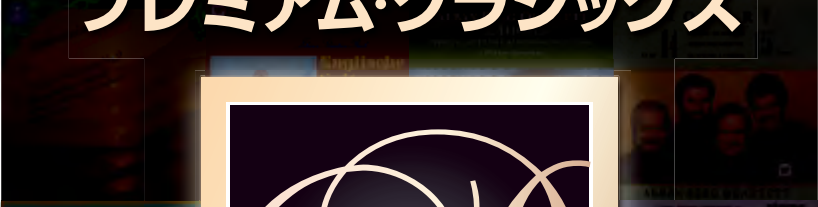




# プレミアム・クラシックス

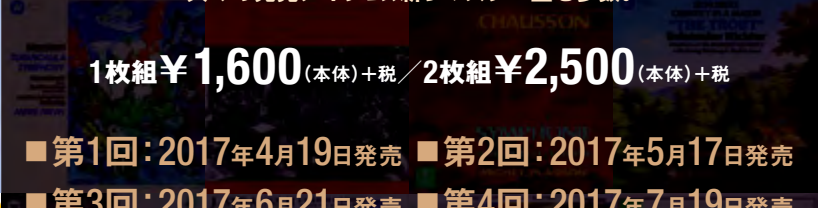


## PREMIUM CLASSICS

高品質盤“UHQCD”による、  
ワーナー・クラシックス(旧EMIクラシックス音源)の名盤、レア盤が集結。  
久々の発売アイテム、新リマスター盤も多数。

1枚組 ¥1,600 (本体)+税 / 2枚組 ¥2,500 (本体)+税

- 第1回: 2017年4月19日発売
- 第2回: 2017年5月17日発売
- 第3回: 2017年6月21日発売
- 第4回: 2017年7月19日発売



WARNER CLASSICS



ERATO



PREMIUM CLASSICS

# プレミアム・クラシックス(UHQCD) Ultimate HQ HiQualityCD

## 第1回～第4回 (全100点)

- ★名盤中の名盤による、久々復活の名盤多数を含むラインアップ100点で構成。
- ★アナログ音源については、アビイ・ロード・スタジオ他、海外スタジオによる、アナログ・マスターからの最新リマスター音源を使用。今回新たにリマスターも多数実施予定。
- ★フロントカバーはオリジナル発売海外カバーデザイン使用を追求。
- ★歌詞対訳掲載
- ★登場するアーティストとしては、指揮者では、オーマンディ、クーベリック、クリュイタンス、クレツキ、クレンペラー、ジュリーニ、バルビローリ、バーンスタイン、ブラッソン、プレヴィン、ベルグルンド、マルティノン、ミュンシュ、アンサンブルのアルバン・ベルク四重奏団。ピアニストでは、ガヴリーロフ、シフラ、バレンボイム、フランソワ、ミケランジェリ、リヒテル、ワイセンベルク、チェンバロのヴァルヒャ。弦楽奏者では、ヴァイオリンのクレメル、スーク、ツィンマーマン、テツラフ、メニューイン、チェロのロストロポーヴィチ、ギターのパルエコ、管楽器奏者では、ヴァトコヴィチ(ホルン)、ブレイン(ホルン)、歌手ではフィッシャー＝ディースカウ(バリトン)など豪華なラインアップで、古今のクラシック音楽界を代表する大アーティストがキラ星のごとく参加。
- ★4月19日発売でUHQCDとCDを同トラックで比較できるハイライト盤を発売予定

2017年4月19日発売 第1回25点 2017年5月17日発売 第2回25点  
2017年6月21日発売 第3回25点 2017年7月19日発売 第4回25点

- 仕様：UHQCD仕様CD盤 Pケース
- 価格：1枚組 ¥1,600(本体)+税 / 2枚組 ¥2,500(本体)+税
- 国内企画編成盤

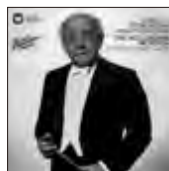
■特設サイト → <http://wmg.jp/special/premiumclassics/>



### ブルックナー： 交響曲 第7番(ノーヴァク版)

フランツ・ウェルザー＝メスト指揮  
ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1991年録音  
●WPCS-28001

交響曲  
ブルックナーの音楽は彼の生地に行くときより一層の理解が深まる、と言われていますが、ウェルザー＝メストはその生地に近いオーストリア、リンツ生まれ。どの音からも、ブルックナーが考え抜いた必然を感じさせる確かな解釈がなされています。



### シベリウス： 交響詩「4つの伝説曲」

ユージン・オーマンディ指揮  
フィラデルフィア管弦楽団  
●1978年録音  
●WPCS-28002

管弦楽曲  
2017年リマスター  
オーマンディによるシベリウスは作曲者の折り紙付きのもので、数多くの名盤が残されています。このディスクにおいても名門・フィラデルフィア管弦楽団の多彩な表現力を駆使しての音作り、弦の流麗さは秀逸です。



### バルトーク： 組曲「中国の不思議な役人」 弦楽器、打楽器とチェレス タのための音楽

ユージン・オーマンディ指揮  
フィラデルフィア管弦楽団  
●1978年録音  
●WPCS-28003

管弦楽曲  
2017年リマスター  
バルトークの2つの傑作に対し、オーマンディは民族的な語法への共感を根底に、作品の魅力を引き出そうと試みます。その上で彼独特の洗練された響きをオーケストラから引き出し、素晴らしいバランス感覚に溢れる演奏が展開されます。



### ヴィラ＝ロボス： ブラジル風のバッハ 第2番、第5番、第6番&第9番

ポール・カポロンゴ指揮  
バリ管弦楽団 他  
●1973年録音  
●WPCS-28004

管弦楽曲  
2017年リマスター  
さまざまな編成のために書かれ、バッハとブラジルの民俗音楽の融合をテーマに置いたこの作品は、色彩豊かな独特の世界を開陳しています。カポロンゴは各曲に登場する各ソロイストを存分に生かした、見事な演奏を展開させます。



### モーツァルト： 交響曲 第36番「リンツ」& 第38番「プラハ」

ラファエル・クーベリック指揮  
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1961年録音  
●WPCS-28005

交響曲  
2017年リマスター  
40歳代半ば、指揮者としては売り出し中だったクーベリックとウィーン・フィルによる録音です。この「リンツ」「プラハ」ともに、自然体でありながら細部まで目が行き届いた、実に豊かな音楽世界が構築されています。



### モーツァルト： 交響曲 第35番「ハフナー」 &第41番「ジュピター」

ラファエル・クーベリック指揮  
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1961年録音  
●WPCS-28006

交響曲  
2017年リマスター  
クーベリックは晩年にバイエルン放送交響楽団とモーツァルトの後期交響曲を録音しており、名盤として知られていますが、それより20年以上前のこの録音には、また違った澁刺とした味わいがあります。ウィーン・フィルの響きも極上です。



### シューベルト：交響曲 第7 (8)番「未完成」 モーツァルト：アイネ・クラ イネ・ナハトムジーク 他

ラファエル・クーベリック指揮  
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1960/1961年録音  
●WPCS-28007

交響曲  
2017年リマスター  
クーベリックの温かみのある音楽作りはもちろん、ウィーン・フィルの音色美が堪能できる1枚です。「未完成」はもちろんのこと、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」での弦楽器の滴るような美しさは息を呑むばかりです。



### チャイコフスキー： 交響曲 第4番

ラファエル・クーベリック指揮  
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1960年録音  
●WPCS-28008

交響曲  
2017年リマスター  
クーベリックが1961年にバイエルン放送交響楽団の首席指揮者に就任する前にウィーン・フィルと吹き込んだ、自信に溢れたチャイコフスキーです。クーベリックらしく、奇を衒うことのない真摯な表情と、密度の高い演奏が展開されています。

第1回発売

第2回発売

第3回発売

第4回発売





### チャイコフスキー： 交響曲 第5番

ラファエル・クーペリック指揮  
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1960年録音  
●WPCS-28009

2017年リマスター

クーペリックが1961年にバイエルン放送交響楽団の首席指揮者に就任する前にウィーン・フィルと吹き込んだ、自信に溢れたチャイコフスキーです。熱気を帯びた感動的な演出にもかかわらず、毅然たる姿勢を崩さない音楽家の態度が表れた演奏です。



### チャイコフスキー： 交響曲 第6番「悲愴」

ラファエル・クーペリック指揮  
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1960年録音  
●WPCS-28010

2017年リマスター

クーペリックが1961年にバイエルン放送交響楽団の首席指揮者に就任する前にウィーン・フィルと吹き込んだ、自信に溢れたチャイコフスキーです。感情に流されることなく、ひたすら楽曲の意図、本質に正面から対峙する姿勢を示した快演です。



### フランク：交響詩集 (呪われた狩人／アイオロスの人々／ジーン／贖罪)

アンドレ・クリュイタンス指揮  
ベルギー国立管弦楽団  
アルド・チッコリーニ(ピアノ)  
●1962年録音  
●WPCS-28011

2017年リマスター

フランク、クリュイタンス、ベルギー国立管という同じベルギーの音楽家たちで固められた演奏です。フランスのオーケストラより少しほの暗く、滋味豊かな色彩感が曲の魅力さをさらに引き出します。彼らは雄大で大きな起伏をもってフランクの音楽に対峙します。



### プロコフィエフ： 交響曲 第5番

パウル・クレツキ指揮  
フィルハーモニー管弦楽団  
●1963年録音  
●WPCS-28012

2017年リマスター

ポーランドを代表する名指揮者クレツキによるプロコフィエフです。派手さはなく地味ながら、端正で、緻密かつ誠実な解釈により、楽曲と対峙するその姿勢は本作でもしっかりと表れています。プロコフィエフ演奏の定番的内容です。



### J.シュトラウスⅡ世：ウィーン気質／喜歌劇「こもり」序曲／皇帝円舞曲 ワイル：「小さな三文音楽」より クレンペラー：メリー・ワルツ

オットー・クレンペラー指揮  
フィルハーモニー管弦楽団  
●1961年録音  
●WPCS-28013

2017年リマスター

辛口のウィンナ・ワルツです。陽気で明るく思われているウィンナ・ワルツもクレンペラーの手に掛かると立派な管弦楽作品に。「小さな三文音楽」はクレンペラーが初演したものです。そしてクレンペラー自作のワルツにも注目を!



### ストラヴィンスキー： バレエ「ペトルーシュカ」組曲 (1947年版) バレエ「火の鳥」組曲(1919年版)

カルロ・マリア・ジュリーニ指揮  
シカゴ交響楽団  
●1969年録音  
●WPCS-28014

2017年リマスター

円熟期にさしかかったジュリーニがシカゴ響と行なった意欲的なレコーディングです。澁刻としたリズムとオーケストラの色彩感、ジュリーニの意図に見事に反応しているオーケストラの素晴らしさも、ここでは特筆されます。

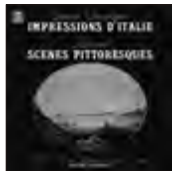


### ドヴォルザーク： 交響曲 第8番 序曲「謝肉祭」

コンスタンティン・シルヴェストリ指揮  
ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1957/1958年録音  
●WPCS-28015

2017年リマスター

全体にメリハリをしっかりと効かせたフレージングの目立つ、クッキリとした演奏です。快適なテンポによる爽やかさが特徴。弦と木管が素晴らしい調和をみせるなか、シルヴェストリならではの表情付けが光ります。



### シャルパンティエ： 組曲「イタリアの印象」 マスネ：絵のような風景

ピエール・デルヴォー指揮  
オペラ・コミック国立歌劇場管弦楽団  
●1963/1964年録音  
●WPCS-28016

2017年リマスター

フランスの作曲家シャルパンティエとその師匠マスネ、両者の作品をフランス生まれの指揮者デルヴォーが演奏した生粋のフランス音楽集です。意図的と思われる荒削りな表情が、曲に類い稀な力を注いでいます。



### ハチャトゥリアン： バレエ「ガイーン」(抜粋) バレエ「スパルタクス」(抜粋)

アラム・ハチャトゥリアン指揮  
ロンドン交響楽団  
●1967年録音  
●WPCS-28017

2017年リマスター

ハチャトゥリアンが晩年に遺した珠玉の自作自演集。自らの指揮で繰り返し演奏し、代表曲となった「剣の舞」を含む「ガイーン」、そしてダイナミックで色彩豊かな「スパルタクス」、ともに老大家に対するオーケストラの敬意も大いに感じられる、濃密な演奏です。



### グリーグ： 劇付随音楽「ペール・ギュント」(抜粋)

ジョン・バルビローリ指揮  
ハル管弦楽団 他  
●1968年録音  
●WPCS-28018

2017年リマスター

バルビローリの熟成きわまる棒さばき、風格豊かな音楽の表情。ハル管の音色はグリーグの音楽とピッタリの相性を見せます。清潔でありながら、どこことなく翳りのある、そして儂い悲しみを秘めた独特の響き。アームストロングの清潔な歌声にも注目を!



### エルガー： エニグマ変奏曲 コケイン序曲(ロンドン・タウン)

ジョン・バルビローリ指揮  
フィルハーモニー管弦楽団  
●1962年録音  
●WPCS-28019

2017年リマスター

バルビローリのエルガー演奏の特長がこの一作に完全に収録されています。エニグマ変奏曲では特に第8~10変奏に注目を! その絶妙な暗さを醸すトーンが、真の意味で彼の音楽の性格を表しています。

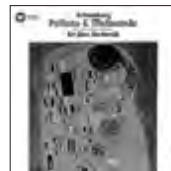


### イギリス弦楽合奏作品集 (グリーンズリーヴスによる幻想曲 他)

ジョン・バルビローリ指揮  
シンフォニア・オブ・ロンドン  
●1962年録音  
●WPCS-28020

2017年リマスター

音楽の抒情的な美しさ、内面の情感、情緒、情念を描くのに秀でた才能を見せたバルビローリ。彼ならではの演奏集です。イギリス音楽の持つデリケートな美しさと厳しさが、バルビローリによる「心からの語りかけ」で再現されています。



### シェーンベルク： 交響詩「ペレアスとメリザンド」

ジョン・バルビローリ指揮  
ニュー・フィルハーモニー管弦楽団  
●1967年録音  
●WPCS-28021

2017年リマスター

バルビローリが遺した唯一のシェーンベルク作品です。穏やかながら間違いのない、実在的に確に作品の魅力を含み、ここに示されています。ニュー・フィルハーモニー管との希少な協演にも注目を!



### ミヨー： バレエ「世界の創造」 ブラジルの郷愁(抜粋) バレエ「屋根の上の牡牛」

レナード・バーンスタイン指揮  
フランス国立管弦楽団  
●1976年録音  
●WPCS-28022

2006年リマスター

バーンスタインとしては珍しいフランスのオーケストラとの協演です。ジャズの影響を受けたという「世界の創造」におけるヨーロッパの伝統と新鮮なリズム感。それを楽しむようなバーンスタインの様子がこの演奏から伝わってきます。



### ディーリアス： 管弦楽曲集 (丘を越えて遥かに／ブリッグの定期市 他)

トーマス・ビーチャム指揮  
ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団  
●1956/1957年録音  
●WPCS-28023/4 2CDs

2017年リマスター

母国の作曲家ディーリアスと親交を結び、彼の音楽の普及に最も貢献したのがビーチャム。そのビーチャムが遺したステレオ録音によるディーリアスの管弦楽曲が収められています。ディーリアスの音楽が持つ豊かな詩情を表現した、最高の名演です。



### ベルリオーズ：交響曲「イタリアのハロルド」／歌劇「ベンヴェヌート・チェルリーニ」序曲／序曲「ウェーヴァリー」

ミシェル・ブラッソン指揮  
トゥールーズ・カピトル国立管弦楽団  
ジェラルド・コセ(ヴィオラ)  
●1991年録音  
●WPCS-28025

2017年リマスター

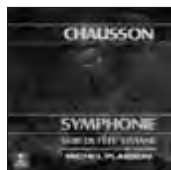
フランスを代表する指揮者と、飛躍的成長を遂げていた時期のオーケストラによる、ベルリオーズの「イタリアのハロルド」です。とりわけ弦の美しさは特筆もの。フランスらしい垢抜けた洗練が実感できる音色です。名手コセのソロも見事。



**ビゼー：**  
**交響曲 八長調**  
組曲「ローマ」  
序曲「祖国」

ミシェル・ブラッソン指揮  
トゥールーズ・カピートル国立管弦楽団  
●1993年録音  
●WPCS-28026

ビゼーの主要オーケストラ作品を集めた演奏集です。17歳の時の「交響曲」、その数年後の組曲「ローマ」、晩年の序曲「祖国」。これらの作品に対し、ブラッソンは「地味な曲ほど燃え上がる」フランス魂全開で挑みます。



**ショーソン：**  
**交響曲**  
交響詩「祭りの夕べ」  
交響詩「ヴィギアンス」

ミシェル・ブラッソン指揮  
トゥールーズ・カピートル国立管弦楽団  
●1976/1986年録音  
●WPCS-28027

フランス音楽を独自の視点を変えながら、新しいアプローチを加えて紹介するブラッソンとトゥールーズ・カピートル管が送るショーソンの作品集です。交響曲はもちろん、あまり収録されない2曲の交響詩にも注目を!



**ファリャ：火祭りの踊り**  
トゥリーナ：交響詩「幻想舞曲集」  
アルベニス：組曲「イベリア」  
より他

ラファエル・フリューベック・デ・ブルゴス指揮  
バリ音楽院管弦楽団  
●1963年録音  
●WPCS-28028

スペイン北部バスク地方とカスティージャ地方を結び交通の拠点、ブルゴス生まれの指揮者ラファエル・フリューベックの十八番はもちろんスペインの作品です。ここではスペインを代表する名曲たちが、指揮者の強い共感に導かれて、見事に奏でられています。



**チャイコフスキー：**  
**バレエ「くるみ割り人形」**  
(全曲)

アンドレ・プレヴィン指揮  
ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団  
●1986年録音  
●WPCS-28029/30 2CDs

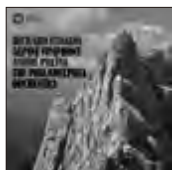
現代の巨匠・プレヴィンによる華麗なチャイコフスキーの世界。プレヴィンのチャイコフスキー、とりわけバレエ音楽は十八番とされています。幻想的なこの作品を表情豊かに、かつしなやかにメロディを紡ぎ出しながら描いていきます。



**シベリウス：**  
**交響曲 第2番**

アンドレ・プレヴィン指揮  
ピッツバーグ交響楽団  
●1977年録音  
●WPCS-28031

プレヴィンは1976年にピッツバーグ交響楽団の音楽監督に就任、その第2作目にあたるレコーディングがこのシベリウスです。プレヴィンらしい気品の高さは残しつつも熱気と緊張感に溢れた、聴き応え充分なシベリウスに仕上がっています。



**R.シュトラウス：**  
**アルプス交響曲**  
交響詩「ドン・ファン」他

アンドレ・プレヴィン指揮  
フィラデルフィア管弦楽団  
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1980/1983年録音  
●WPCS-28032/3 2CDs

フィラデルフィア・サウンドを意識させながらも、バランスのよい透明感のある演奏の「アルプス交響曲」は、プレヴィンのセンスの良さ、魅力溢れる録音の一つ。ウィーン・フィルとの「ドン・ファン」他もまた、プレヴィンの実力が示された堂々たる演奏です。



**メシアン：**  
**トゥーランガリラ交響曲**

アンドレ・プレヴィン指揮  
ロンドン交響楽団  
ミシェル・ペロフ(ピアノ)  
ジャンヌ・ロリオ(オンド・マルトノ)  
●1977年録音  
●WPCS-28034/5 2CDs

録音の面でも定評のあるディスクで、プレヴィンの現代作品への見事な対応が光る演奏です。鮮烈で直截なアプローチは、当時としては目を瞠るようなダイナミックレンジを持つ録音と相まって、朗々と鳴りひびく緊迫感を生み出しています。



**ガーシュウィン：**  
**ラプンディ・イン・ブルー**  
パリのアメリカ人  
ピアノ協奏曲 へ調

アンドレ・プレヴィン(指揮、ピアノ)  
ロンドン交響楽団  
●1971年録音  
●WPCS-28036

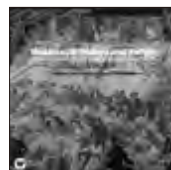
プレヴィンが指揮とピアノで存分に力を発揮した1枚。ガーシュウィンの魅力を、理想的なサウンド・バランスで実現しています。広い音楽性に裏打ちされた、オーケストラに溶け込むピアノと指揮は、ガーシュウィンの最良の部分を引き出しています。



**シベリウス：管弦楽曲集**  
(フィンランディア／トゥオネラの白鳥／悲しきワルツ 他)

パーヴォ・ベルグランド指揮  
フィルハーモニー管弦楽団  
●1982年録音  
●WPCS-28037

シベリウス演奏の権威として知られるベルグランドによる、堂々たる揺るぎのないシベリウス作品集です。ベルグランドならではの、北欧の気配のように澄み切った音作り。一点の濁りもない空気感と、切ない抒情が描かれるます。



**ワルトイフェル作品集**  
(ワルツ「スケートをする人々」ワルツ「女学生」他)

ウィリー・ボスコフスキー指揮  
モンテ・カルロ国立劇場管弦楽団  
●1976年録音  
●WPCS-28038

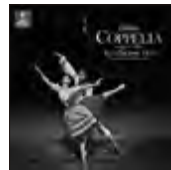
シュトラウス一家のウィンナ・ワルツに対し、パリのワルツはワルトイフェルに代表されます。色とりどりでスケールが大きく、エレガントな世界を、生粋のウィーンっ子ボスコフスキーが何の違和感もなく、さらに活力をもたらしながら演奏します。



**リスト：**  
**ハンガリア狂詩曲 第2番、**  
**第3番&第5番 他**

ウィリー・ボスコフスキー指揮  
ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団  
●1976/1977年録音  
●WPCS-28039

ウィンナ・ワルツのスペシャリストであったボスコフスキーはやはり舞曲の天才です。舞曲的要素の強い「ハンガリー狂詩曲」でもその実力は十二分に示されています。哀愁を帯びたラッサンと躍動的なプリスカの対照も素晴らしい演奏です。



**ドリーブ：**  
**バレエ「コッペリア」(全曲)**

ジャン・バティスト・マリ指揮  
パリ・オペラ座国立劇場管弦楽団  
●1977年録音  
●WPCS-28040/1 2CDs

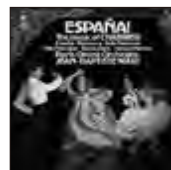
原作の怪奇性、それとは正反対の喜劇仕立てのバレエ、そのアンバランスの妙をマリは見事に描いていきます。均整のとれた様式美の中に響かせる、ゆったりとしたサウンドが魅力的。第1幕第2場、コッペリアが人形に化けるくだりなど、音楽だけで十二分に楽しめます。



**ドリーブ：**  
**バレエ「シルヴィア」(全曲)**

ジャン・バティスト・マリ指揮  
パリ・オペラ座国立劇場管弦楽団  
●1977年録音  
●WPCS-28042/3 2CDs

名演「コッペリア」に勝るとも劣らない、いやそれをも凌ぐ内容と言われているのが、マリの「シルヴィア」です。バレエ音楽の基本とされる舞曲的要素と情景描写、その双方が適切に配分され、かつ民族色と洗練とが溶け合った演奏です。



**狂詩曲「スペイン」**  
～シャブリエ管弦楽曲集

ジャン・バティスト・マリ指揮  
パリ・オペラ座国立劇場管弦楽団  
●1977年録音  
●WPCS-28044

パリ音楽院で学んだマリにとって、シャブリエの音楽は身近なものでした。1946年、パリで本格的な指揮活動を始めてからも、常にフランス音楽は彼の表現の第一手段。本作はフランスを代表するオーケストラのひとつの快演です。



**ベルリオーズ：**  
**幻想交響曲**

ジャン・マルティノン指揮  
フランス国立放送管弦楽団  
●1973年録音  
●WPCS-28045

マルティノン唯一の「幻想交響曲」です。第2楽章でコレネットを含む版を使用していることも特徴のひとつ。各楽器のソロ演奏を得意とするフランスのオーケストラだけあって、ベルリオーズの意図を十二分に汲み取った名手技が随所で展開されています。



**ドビュッシー：管弦楽曲集**  
(海／夜想曲／遊戯／映像／牧神の午後への前奏曲 他)

ジャン・マルティノン指揮  
フランス国立放送管弦楽団  
●1973年録音  
●WPCS-28046/7 2CDs

フランス音楽の本当の魅力を伝えてくれる指揮者の一人、マルティノンによるドビュッシーの快演です。細部まで行き届く洗練された詩情、デリケートな色彩のうつろいと同時に、それを支える明晰な視点。まさにマルティノンならではの世界です。





### デュカス：交響曲 八長調 オネゲル：夏の牧歌 他

ジャン・マルティノン指揮  
フランス国立放送管弦楽団  
●1971/1972年録音  
●WPCS-28048

交響曲

2017年リマスター

フランスの厳格な構成と、ショーソンのファンタスティックな色合いを掛け合わせたような味わいを持つ、デュカスの交響曲。美しい車窓を眺めるように展開されるこの曲を、マルティノンはフランス的なポエジー溢れる手法で、鮮やかに描き出しています。



### イベルル： 祝典序曲 交響組曲「寄港地」 架空の愛へのトロピズム

ジャン・マルティノン指揮  
フランス国立放送管弦楽団  
●1974年録音  
●WPCS-28049

管弦楽曲

2017年リマスター

マルティノンが描く、洗練の極にあるようなイベルルの世界です。代表曲である「寄港地」をはじめ、日本の皇紀二千六百年のための「祝典序曲」、そして彼の作品としての総決算とも言える「架空の愛へのトロピズム」という、絶妙な選曲もポイントです。



### オネゲル： パシフィック231 夏の牧歌 クリスマス・カンタータ

ジャン・マルティノン指揮  
フランス国立放送管弦楽団 他  
●1971年録音  
●WPCS-28050

管弦楽曲

2017年リマスター

マルティノン晩年の録音で、オネゲルの魅力を1枚で楽しむには格好の内容です。オネゲル独特の躍動的な美観や爽やかな抒情から、甘美な神秘性とそこやかな宗教感情など、作曲家の魅力がここに満載。マルティノンの棒さばきは牙えに牙えています。



### オネゲル：交響曲 第2番 ラヴェル：ピアノ協奏曲 亡き王女のためのパヴァーヌ

シャルル・ミュンシュ指揮  
パリ管弦楽団  
ニコル・アンリオ=シュヴァイツァー(ピアノ)  
●1967/1968年録音  
●WPCS-28051

交響曲

2017年リマスター

名人揃いのパリ管弦楽団を駆使して、ミュンシュの最後期に残された至高の遺産です。オネゲルの交響曲は白熱し、高揚感に満ちた音楽。女流アンリオ=シュヴァイツァーをソロに迎えたラヴェルでは、色彩と詩情豊かな音楽を聴かせてくれます。



### ラヴェル： ボレロ スペイン狂詩曲 「ダフニスとクロエ」組曲 第2番

シャルル・ミュンシュ指揮  
パリ管弦楽団  
●1968年録音  
●WPCS-28052

管弦楽曲

2017年リマスター

結成当初からオーケストラとして最高水準に達していたパリ管弦楽団を、最晩年に率いたミュンシュ。ラヴェル作品を収めたこの1枚は、その輝かしい時代を証明する内容です。どの曲も鮮やかな色彩と造形、緊張した力感が見事で、聴きどころ満載です。



### モーツァルト： 交響曲 第29番、第25番& 第26番

ジェレミー・ローレル指揮  
ル・セルクル・ドゥ・ラルモニー  
●2008年録音  
●WPCS-28053

交響曲

ヨーロッパ音楽界で注目されている話題の指揮者ジェレミー・ローレルと、自らが創立したル・セルクル・ドゥ・ラルモニーという、ピリオド楽器アンサンブルによるモーツァルトです。モダン楽器も含め、あらゆる表現に長けていた俊英の音楽解釈がここに!



### モーツァルト： 弦楽四重奏曲 第14番&第15番

アルバン・ベルク四重奏団  
●1987年録音  
●WPCS-28054

室内楽曲

2曲とも、アルバン・ベルク2度目の録音。アンサンブルは一段と精妙になり、全体の表現も線が太くなっています。モーツァルトにありがちな清楚過ぎたり、愉悦性や悲劇性が強調され過ぎたりすることもなく、見事なバランスで表現されています。

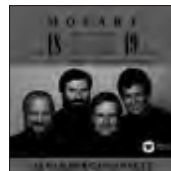


### モーツァルト： 弦楽四重奏曲 第16番&第17番「狩」

アルバン・ベルク四重奏団  
●1990年録音  
●WPCS-28055

室内楽曲

2曲ともに11年ぶりの再録音。その間に内声部のメンバー2人が交代しています。しかし演奏の瑞々しさは変わらず、むしろ一層ダイナミックで振幅の大きな表情の変化があり、さらなる深化と円熟味が感じられる演奏に仕上がっています。



### モーツァルト： 弦楽四重奏曲 第18番&第19番「不協和音」

アルバン・ベルク四重奏団  
●1988年録音  
●WPCS-28056

室内楽曲

冒頭からの異様なほどのテンションの高さが、彼らの実力をまざまざと感じさせる「不協和音」。カップリングの第18番でも、モーツァルトの持つ普遍的な魅力を余すところなく描き尽くし、現代に息づくモーツァルトが見事に再現されています。



### モーツァルト： 弦楽五重奏曲 第3番&第4番

アルバン・ベルク四重奏団  
マルクス・ヴォルフ(ヴィオラ)  
●1986年録音  
●WPCS-28057

室内楽曲

ヴィオラを一本加えるだけで、弦楽四重奏とはひと味異なる重層的な楽しさを与えた、天才モーツァルトならではの五重奏曲集です。名手マルクス・ヴォルフを第2ヴィオラに迎え、水も漏らさぬ完璧なアンサンブルを聴かせます。



### ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 第12番&第7番「ラズモフスキー第1番」

(1989年ライブ)  
アルバン・ベルク四重奏団  
●1989年録音  
●WPCS-28058

室内楽曲

アルバン・ベルク四重奏団2度目のベートーヴェン全集から。スタジオ録音による完璧性を重視した前作に比べ、柔軟性が増し、ライブ録音特有の高揚感がさらなる魅力となっています。結成から時を経て獲得された豊かさもまた、聴きのがせない点と言えるでしょう。



### ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 第8番「ラズモフスキー第2番」&第6番

(1989年ライブ)  
アルバン・ベルク四重奏団  
●1989年録音  
●WPCS-28059

室内楽曲

アルバン・ベルク四重奏団2度目のベートーヴェン全集から。彼らの本拠地であるコンツェルトハウスにおけるこのライブ収録でも、その緻密なアンサンブルはスタジオ録音と同様。常に完璧を求めるこの団体の実力が如実に示されています。

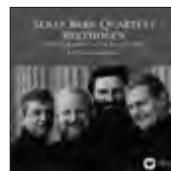


### ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 第16番&第9番「ラズモフスキー第3番」

(1989年ライブ)  
アルバン・ベルク四重奏団  
●1989年録音  
●WPCS-28060

室内楽曲

アルバン・ベルク四重奏団2度目のベートーヴェン全集から。最晩年の第16番では、この曲が内包する狂気的な要素、それと相反する朴訥で清澄な要素に自然に対峙します。第9番で魅せるライブならではの臨場感と、即興的な表情の妙も見事の一言です。



### ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 第1番&第10番「ハープ」

アルバン・ベルク四重奏団  
●1989年録音  
●WPCS-28061

室内楽曲

アルバン・ベルク四重奏団2度目のベートーヴェン全集から。現代的な感覚と、伝統の熟成の味をともに堪能させてくれる、この団体ならではの演奏です。ピヒラーの素晴らしい統率力により、終始前進するエネルギーを感じさせるライブ録音です。



### ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 第2番、第11番「セリオーン」&第5番

(1989年ライブ)  
アルバン・ベルク四重奏団  
●1989年録音  
●WPCS-28062

室内楽曲

アルバン・ベルク四重奏団2度目のベートーヴェン全集から。中期ベートーヴェン作品の中でも、ことに緊密なまとまりをみせている「セリオーン」では、緊迫感を十分に表出しながらも、彫りの深いベートーヴェン固有のロマンスを感じさせてくれます。

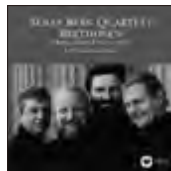


### ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 第3番&第13番

(1989年ライブ)  
アルバン・ベルク四重奏団  
●1989年録音  
●WPCS-28063

室内楽曲

アルバン・ベルク四重奏団2度目のベートーヴェン全集から。晴朗な第3番と、後期作品群の中でも破格のスケールを持つ第13番の組み合わせです。振幅の大きさや切々たる情緒の美しさ、そしてライブならではの熱気も加わった、完璧な演奏です。

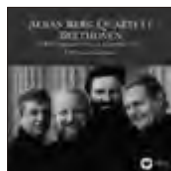


**ベートーヴェン：**  
**弦楽四重奏曲**  
**第4番&第14番**  
**(1989年ライブ)**

アルバン・ベルク四重奏団  
●1989年録音  
●WPCS-28064

室内楽曲

アルバン・ベルク四重奏団2度目のベートーヴェン全集から。実に説得力のある演奏で、緊張感と流麗な歌いまわしとの過不足ない融和が、リスナーにしっかりと伝わってきます。全体にふくよかさと広がりがあり、旧録音からの彼らの円熟がうかがえます。



**ベートーヴェン：**  
**弦楽四重奏曲**  
**第15番／大フーガ**  
**(1989年ライブ)**

アルバン・ベルク四重奏団  
●1989年録音  
●WPCS-28065

室内楽曲

アンサンブルとして、演奏者たちが「ある到達点に到達した」ことを認識して始めというライブ録音からの1枚。第15番、それに「大フーガ」という難曲も、余裕やアンサンブルの熱気が直に伝わってきます。アルバン・ベルク四重奏団の実力ここにあり!



**ヤナーチェク：**  
**弦楽四重奏曲**  
**第1番「クロイツェル・ソナタ」&第2番「ないしょの手紙」**

アルバン・ベルク四重奏団  
●1994年録音  
●WPCS-28066

室内楽曲

トルストイの「クロイツェル・ソナタ」にインスパイアされた第1番、年下の女性への恋慕から生まれた第2番。ヤナーチェク自身の内面的な告白とも言える2曲です。演奏は、楽曲の激しい起伏に追従し、恐ろしいほどの情念を露わにしています。



**ベルク：**  
**弦楽四重奏曲**  
**抒情組曲**

アルバン・ベルク四重奏団  
●1991/1992年録音  
●WPCS-28067

室内楽曲

2曲とも17年ぶりの再録音。作品に対する圧倒的な自信が演奏にははっきりと反映され、前衛的な表現は若干和らいではいるものの、しっとりとした味わいが増えられています。この団体の底力を感じさせる内容です。



**J.シュトラウス&ランナー：**  
**弦楽四重奏曲**  
**ワルツ&ポルカ集**

アルバン・ベルク四重奏団 他  
●1992年録音  
●WPCS-28068

室内楽曲

通常はオーケストラで演奏されるJ.シュトラウスやランナーの曲を弦楽四重奏で演奏した、異色の1枚です。しかし編成が小さいだけではなく、精密であり、同時にこぼれんばかりの愉悦をたたえた素晴らしい演奏を聴かせてくれます。



**ショスタコーヴィチ：**  
**弦楽四重奏曲**  
**第2、3、7、8&12番**

ポロディン弦楽四重奏団  
●1990年録音  
●WPCS-28069/70 2CDs

室内楽曲

2度にわたってショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全集を録音しているポロディン四重奏団には、間違いなくショスタコーヴィチ演奏の伝統が培われています。これらの作品の先導者として、ポロディン弦楽四重奏団の演奏が一つの規範を示しています。



**メシアン：**  
**世の終わりのための四重奏曲**  
**／黒つぐみ**

エリック・グリュエーエンバーク(ヴァイオリン)  
ジェルヴァーズ・ド・ベイエ(クラリネット)  
ウィリアム・ブリース(チェロ)  
ミシェル・ペロフ(ピアノ) 他  
●1968/1971年録音  
●WPCS-28071

室内楽曲

第2次大戦中に捕虜の身となった時に着想し、収容所で初演された、メシアンによる神秘的な名曲が「世の終わりのための四重奏曲」。17歳の時にメシアン・コンクールで優勝した天才・ペロフを中心とした、凄腕メンバーの名演がここに聴かれます。



**チャイコフスキー：**  
**ピアノ協奏曲 第1番**

アンドレイ・ガヴリーロフ(ピアノ)  
リッカルド・ムーティ指揮  
フィルハーモニア管弦楽団  
●1979年録音  
●WPCS-28072

協奏曲

超絶的なテクニックを駆使して難なく弾きこなすのではなく、難所を魅力的に引き立たせる「華」のようなものを持っているのが、ガヴリーロフのピアノです。目の覚めるような斬新な解釈による演奏は、実に刺激的。澁刺とした演奏です。



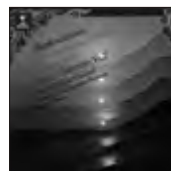
**ラヴェル：夜のガスパール**  
**バラキレフ：イスラメイ**  
**リスト：ラ・カンパネッラ 他**

アンドレイ・ガヴリーロフ(ピアノ)  
●1977年録音  
●WPCS-28073

協奏曲

2017年リマスター

ロシア的ヴィルトゥオーゾ・ピアニストの現代版と言われる超絶技巧の持ち主、ガヴリーロフの実力が遺憾なく発揮されたのがこの1枚です。ラヴェル、リスト、プロコフィエフ、そしてバラキレフの難曲をもの見事に弾きこなします。



**ラフマニノフ：**  
**ピアノ協奏曲 第2番**  
**バガニーニの主題による狂詩曲**

ジャン＝フィリップ・コラール(ピアノ)  
ミシェル・ブラッソン指揮  
トゥールーズ・キャピトル管弦楽団  
●1977/1978年録音  
●WPCS-28074

協奏曲

2017年リマスター

1970年代後半、注目の新鋭と目されていた時期のコラールによるラフマニノフです。作品の持つ、ロシア的な濃密で哀愁溢れるロマンティズムよりも、フランス的に洗練された高雅な抒情性が、ここでは聴きものになっています。



**リスト：**  
**ピアノ協奏曲 第1番&第2番**  
**死の舞踏／ハンガリー幻想曲**

ジョルジ・シフラ(ピアノ)  
ジョルジ・シフラJr. 指揮  
パリ管弦楽団  
●1968/1969年録音  
●WPCS-28075

協奏曲

2017年リマスター

1956年、ハンガリー動乱の際に妻子とともに徒歩で西側に脱出したシフラ。そのとき背に負って河を渡ったのが、ここで指揮をするシフラ・ジュニアでした。故国出身のリストの音楽を、20世紀を代表するヴィルトゥオーゾとその子息がダイナミックに奏でます。



**ベートーヴェン：**  
**ピアノ協奏曲 第5番**  
**「皇帝」**

ダニエル・バレンボイム(ピアノ)  
オットー・クレンペラー指揮  
ニュー・フィルハーモニア管弦楽団  
●1967年録音  
●WPCS-28076

協奏曲

2006年リマスター

渾身の力演を示すバレンボイム。その背景にはクレンペラーの圧倒的に素晴らしい伴奏の支えが存在しています。第1楽章からクレンペラーの指揮するオーケストラは絶好調、バレンボイムもそれに呼応して、稀にみる緊張感が生まれています。



**ベートーヴェン：**  
**ピアノ協奏曲 第4番**

ダニエル・バレンボイム(ピアノ)  
オットー・クレンペラー指揮  
ニュー・フィルハーモニア管弦楽団  
●1967年録音  
●WPCS-28077

協奏曲

2006年リマスター

1960年代後半に行われた、クレンペラーとバレンボイムによるベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲録音から。晩年のクレンペラーらしい悠然とした音の枠組みの中で、若きバレンボイムが躍動的、かつ典雅な演奏を展開します。



**バルトーク：**  
**ピアノ協奏曲**  
**第1番&第3番**

ダニエル・バレンボイム(ピアノ)  
ビエール・ブーレーズ指揮  
フィルハーモニア管弦楽団  
●1967年録音  
●WPCS-28078

協奏曲

2017年リマスター

ピアノ協奏曲の「春の祭典」とも言われているのがバルトークの第1番。並の演奏家では太刀打ちできない内容ですが、ブーレーズとバレンボイムは、ともに素晴らしい技量で作品に对峙しています。第3番の高い完成度も見事。天才同士の神業が存分に楽しめます。



**ショパン：**  
**ピアノ・ソナタ**  
**第2番「葬送」&第3番**

サンソン・フランソワ(ピアノ)  
●1964年録音  
●WPCS-28079

器楽曲

2010年リマスター

ショパン特有の多彩な音と心の動きの変化を、奔放なファンタジーと個性的な誇張を伴いながら、あますところなく弾きだしているフランソワならではの名演。これ以外の表現はありえないのではないかとすら思わせる、強い説得力を持つ演奏です。



**ハイドン：**  
**ピアノ協奏曲 二長調／同ト長調**

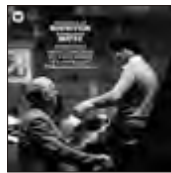
アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ(ピアノ)  
エドモンド・シュトゥツ指揮  
チェリヒ室内管弦楽団  
●1975年録音  
●WPCS-28080

協奏曲

2017年リマスター

目の覚めるような響きのきらめきと、鋭い切れ味をみせるピアノ。そこに禁欲的な厳しさも併せ持っているのがミケランジェリの演奏です。簡潔かつ明朗なハイドンの音楽に対して、彼は楽曲の柔らかな表情の裏に潜むであろう衝動をも描こうとしています。





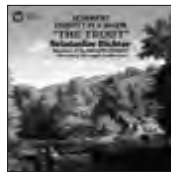
### ベートーヴェン： ピアノ協奏曲 第3番 アンダンテ・ファヴォリ

スヴァトスラフ・リヒテル(ピアノ)  
リッカルド・ムーティ指揮  
フィルハーモニア管弦楽団  
●1977年録音  
●WPCS-28081

協奏曲

2012年リマスター

骨太で腰の据わった、リヒテルならではの堂々たる演奏です。音楽に没入し、自ら楽しみながら展開するその弾きっぷりは、まさに巨匠の貫禄そのもの。ムーティもそうしたリヒテルに触発され、じっくりと構え、落ち着いた伴奏を付けています。



### シューベルト： ピアノ五重奏曲「鱒」

スヴァトスラフ・リヒテル(ピアノ)  
ポロティン弦楽四重奏団員  
ゲオルク・ヘルトナーゲル(コントラバス)  
●1980年録音  
●WPCS-28082

室内楽曲

シューベルトの名歌曲「鱒」のテーマが第4楽章に使用されている、室内楽の名作中の名作。躍動感と緊張感に満ち、ロマンティックな情感を滲えたりヒテルの美しいピアノは絶品です。柔和で優しく、瑞々しい若さに満ちあふれたアンサンブルとの相性も抜群です。



### ショパン：アンダンテ・スピア ナートと華麗なる大ポロネーズ 「お手をどうぞ」の主題による 変奏曲／クラコヴィアク 他

アレクシス・ワイセンベルク(ピアノ)  
スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ指揮  
ハリ音楽院管弦楽団  
●1967年録音  
●WPCS-28083

器楽曲

2017年リマスター

2曲のピアノ協奏曲以外にショパンが書いた、ピアノと管弦楽のための作品を全て収めたアルバムです。ワイセンベルクとスクロヴァチェフスキはピアノ協奏曲2曲も同時期に録音しており、高いテンションに貫かれた両者の演奏は、思わす襟を正したくなる見事さです。



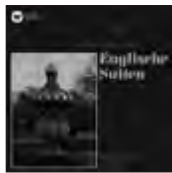
### J.S.バッハ： インヴェンションとシンフ ニア

ヘルムート・ヴァルヒヤ(チェンバロ)  
●1961年録音  
●WPCS-28084

器楽曲

2017年リマスター

ピアノを志す人は必ず手がけるのがこの曲ですが、その魅力、バッハの意図を的確に伝えてくれるのがこのヴァルヒヤの演奏です。様式に忠実でありながら、学究的側面からだけでは得られない、ふくよかな人間性が彼のバッハからは感じられます。

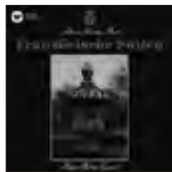


### J.S.バッハ： イギリス組曲(全曲)

ヘルムート・ヴァルヒヤ(チェンバロ)  
●1959年録音  
●WPCS-28085/6 2CDs 2017年リマスター

器楽曲

ヴァルヒヤはJ.S.バッハゆかりの地、ライプツィヒ出身の鍵盤奏者。深い精神性と豊かな感性に満ち、さすがにバッハ演奏の第一人者と言える堂々としたパフォーマンスが展開されています。テンポをいくぶん遅めに設定しながら、雄大に対位法の妙を表現しています。



### J.S.バッハ： フランス組曲(全曲)

ヘルムート・ヴァルヒヤ(チェンバロ)  
●1962年録音  
●WPCS-28087/8 2CDs 2017年リマスター

器楽曲

ヴァルヒヤの壮年期にお気に入りだったアンマー・チェンバロを使用してレコーディングされた作品です。その澄明で柔らかな響きは「フランス組曲」の曲想にピッタリ! 荘厳なオルガン作品とは違った、優しくくつろいだヴァルヒヤを味わうことができます。



### J.S.バッハ： パルティータ(全曲)

ヘルムート・ヴァルヒヤ(チェンバロ)  
●1958年録音  
●WPCS-28089/90 2CDs 2017年リマスター

器楽曲

多彩な内容、円熟した芸術性を備えるこの作品に対し、ヴァルヒヤは音楽の性格を見事に生かした演奏を展開しています。時には劇的、時には幻想的な前奏曲を明確に浮かび上がらせ、舞曲は生き生きと表現します。壮年期ヴァルヒヤの充実が示されています。



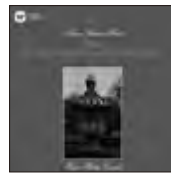
### J.S.バッハ： パルティータ 口短調 イタリア協奏曲 半音階的幻想曲とフーガ

ヘルムート・ヴァルヒヤ(チェンバロ)  
●1960年録音  
●WPCS-28091

器楽曲

2017年リマスター

バッハの第一人者、ヴァルヒヤはバッハの偉大な精神を、深い洞察に基づいた自然な表現で聴き手に伝える事に関して、右に出る者がいないワン・アンド・オンリーな演奏家でした。ここでの演奏も、彼の崇高な精神性に圧倒されます。

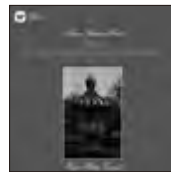


### J.S.バッハ： 平均律クラヴィーア曲集 第1巻

ヘルムート・ヴァルヒヤ(チェンバロ)  
●1961年録音  
●WPCS-28092/3 2CDs 2017年リマスター

器楽曲

二巻の「平均律クラヴィーア曲集」は「鍵盤音楽の旧約聖書」とよばれるほど、高度な内容を持つ音楽です。教育用としても有用ですが、聴くたびに新しい発見のある偉大な作品です。本作の深さと構築力の素晴らしさが、ヴァルヒヤの名演により示されています。

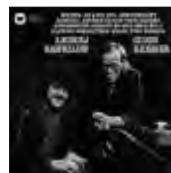


### J.S.バッハ： 平均律クラヴィーア曲集 第2巻

ヘルムート・ヴァルヒヤ(チェンバロ)  
●1961年録音  
●WPCS-28094/5 2CDs 2017年リマスター

器楽曲

二巻の「平均律クラヴィーア曲集」は「鍵盤音楽の旧約聖書」とよばれるほど、高度な内容を持つ音楽です。教育用としても有用ですが、聴くたびに新しい発見のある偉大な作品です。名手ヴァルヒヤらしい、堅実さとダイナミズムを併せ持つ名演です。



### ウェーバー：グランド・デュオ・ コンチェルタンテ シュニッケ：ヴァイオリン・ソナ タ第2番「クワジ・ウナ・ソナタ」他

ギドン・クレーメル(ヴァイオリン)  
アンドレイ・ガヴリーロフ(ピアノ)  
●1979年録音  
●WPCS-28096

室内楽曲

2017年リマスター

ウェーバーでは、甘さや柔らかなロマンティズムとは無縁の、切れ味鋭い颯爽とした演奏が達成されています。シュニッケでのクレーメルは、この時期の彼の方向性を示すかのような、鋭く尖った演奏を披露。ガヴリーロフの機を見るに敏な伴奏も特筆に値します。



### J.S.バッハ： 無伴奏ヴァイオリンのため のソナタ&パルティータ(全 6曲)

ヨゼフ・スーク(ヴァイオリン)  
●1970年録音  
●WPCS-28097/8 2CDs

器楽曲

シンプルではあるものの、穏やかな表現のなかに深い包容力を感じさせるバッハです。豊かさやぬくもりを持ったスークの音色からは、人間的なバッハの大きさをうかがうことができます。澄み切った表情には、音楽の普遍性が宿っているかのようです。



### モーツァルト： ヴァイオリン・ソナタ K301、303、304&481

フランク・ペーター・ツィンマーマン(ヴァイオリン)  
アレクサンダー・ロンクウィッヒ(ピアノ)  
●1990年録音  
●WPCS-28099

室内楽曲

若い頃からモーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスといったドイツ音楽の根幹をレーパートリーの中心に据えているツィンマーマン。過去の名匠の演奏を規範としながらも、21世紀の現代に向けての新しさをも包括した、王道を往くモーツァルトを聴くことができます。



### モーツァルト： ヴァイオリン・ソナタ K305、378、380&376

フランク・ペーター・ツィンマーマン(ヴァイオリン)  
アレクサンダー・ロンクウィッヒ(ピアノ)  
●1989年録音  
●WPCS-28100

室内楽曲

若い頃からモーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスといったドイツ音楽の根幹をレーパートリーの中心に据えているツィンマーマン。過去の名匠の演奏を規範としながらも、21世紀の現代に向けての新しさをも包括した、王道を往くモーツァルトを聴くことができます。

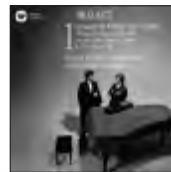


### モーツァルト： ヴァイオリン・ソナタ K306、302、298&377

フランク・ペーター・ツィンマーマン(ヴァイオリン)  
アレクサンダー・ロンクウィッヒ(ピアノ)  
●1987/1988年録音  
●WPCS-28101

室内楽曲

若い頃からモーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスといったドイツ音楽の根幹をレーパートリーの中心に据えているツィンマーマン。過去の名匠の演奏を規範としながらも、21世紀の現代に向けての新しさをも包括した、王道を往くモーツァルトを聴くことができます。



### モーツァルト： ヴァイオリン・ソナタ K379、454&526

フランク・ペーター・ツィンマーマン(ヴァイオリン)  
アレクサンダー・ロンクウィッヒ(ピアノ)  
●1987年録音  
●WPCS-28102

室内楽曲

若い頃からモーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスといったドイツ音楽の根幹をレーパートリーの中心に据えているツィンマーマン。過去の名匠の演奏を規範としながらも、21世紀の現代に向けての新しさをも包括した、王道を往くモーツァルトを聴くことができます。



### ヤナーチェク、ドビュッシー、ラヴェル 他： ヴァイオリン・ソナタ集

クリスティアン・テツラフ (ヴァイオリン)  
レイフ・オヴェ・アンズネス (ピアノ)  
●1994年録音  
●WPCS-28103

室内楽曲

今や現代の巨匠の域に達しつつある名手2人の共演盤です。弾けるような若さ漲る演奏で、その熱気は想像を超えるものがあります。全体の表情が緩むことなく、しっかりと締まっているのも各曲の曲想にピッタリ。心地よい緊張感をもったソナタ集です。



### バルトーク： ヴァイオリン協奏曲 第1番 ヴィオラ協奏曲

ユーディ・メニューイン (ヴァイオリン、ヴィオラ)  
アンタル・ドラティ指揮  
ニュー・フィルハーモニア管弦楽団  
●1965/1966年録音  
●WPCS-28104

協奏曲

2016年リマスター

名作「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ」を委嘱するなど、バルトーク本人と親交が深かったメニューイン。ヴィオラも自在に操ったメニューインの面目躍如とした名演です。卓越した技巧と高貴な音楽性が一体化し、深く厳しく、時に優しいバルトークならではの音楽世界が開陳されます。



### タヴナー：奇跡のヴェール ／チェロのためのトリノス プリテン：チェロ組曲 第3番

スティヴン・イッサーリス (チェロ)  
ゲンナジー・ロジストヴェンスキー指揮  
ロンドン交響楽団  
●1991年録音  
●WPCS-28105

現代曲

タヴナーがイッサーリスのために書いた「奇跡のヴェール」と「トリノス」は、この演奏が決定的名演と断言していい内容です。プリテンのチェロ組曲第3番も、申し分ない内容。ロジストヴェンスキーの伴奏も素晴らしい出来映えです。



### J.S.バッハ： 無伴奏チェロ組曲 (全曲)

ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ (チェロ)  
●1992年録音  
●WPCS-28106/7 2CDs 2017年リマスター

器楽曲

チェロの巨人・ロストロポーヴィチにとって、最初で最後の「無伴奏」全曲録音です。ロストロポーヴィチは文字通り全身全霊を込めて弾ききっています。汲めども尽きぬ泉のように、音楽が湧き上がっては消えて行くさまは神々しいほどです。



### シューマン：チェロ協奏曲 ブロッフ：シエロモ

ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ (チェロ)  
レナード・バーンスタイン指揮  
フランス国立管弦楽団  
●1976年録音  
●WPCS-28108

室内楽曲

2017年リマスター

ロシアとも関わりが深かったバーンスタインと、ロシアから亡命した「チェロの巨人」ロストロポーヴィチとの熱い共演盤。非常に説得力の強いシューマン、共感豊かなブロッフ、いずれの演奏も圧倒的です。



### J.S.バッハ： ソナタ BWV1001、 1003&1005 (ギター編曲版)

マヌエル・バルエコ (ギター)  
●1995年録音  
●WPCS-28109

器楽曲

セゴビアを超えるギタリストとして、独自の右手奏法などが注目されたバルエコ。彼の真の実力を世に示したのがこのバッハです。音の均一性を重視した奏法は、新しい時代の演奏として大きく注目されました。



### モーツァルト： ホルン協奏曲 第1番～第4番 他

ラドヴァン・ヴラトコヴィチ (ホルン)  
ジェフリー・テイ特指揮  
イギリス室内管弦楽団  
●1985年録音  
●WPCS-28110

協奏曲

当時、注目の新星とされていたヴラトコヴィチの、25歳時のデビュー・アルバムです。柔らかく暖かみのあるホルンの音色はモーツァルトにピッタリ。テイトの指揮するオーケストラ同様、滑らかで自然なメロディ・ラインに心が打たれます。



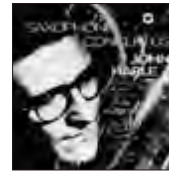
### R.シュトラウス：ホルン協奏曲 第1番&第2番 ヒンデミット：ホルン協奏曲

デニス・ブレイン (ホルン)  
ヴォルフガング・サヴァリッシュ指揮  
フィルハーモニア管弦楽団  
●1956年録音  
●WPCS-28111

協奏曲

2017年リマスター

稀代のホルン奏者、デニス・ブレインの不出の才能を伝える不滅の名盤。R.シュトラウスのホルン協奏曲はモーツァルトのそれと並ぶ名作であり、冴えに冴えるブレインのホルンが堪能できます。ヒンデミット作品での作曲家自身の指揮も貴重。



### サクソフォン協奏曲集 (ドビュッシー、イベール、ヴィラ＝ロボス、グラスノフ 他)

ジョン・ハーレ (サクソフォン)  
ネヴィル・マリナー指揮  
アカデミー管弦楽団  
●1990年録音  
●WPCS-WPCS-28112

協奏曲

ドビュッシー、イベール、グラスノフに加え3人の現代作曲家が、サクソフォンとオーケストラのために書いた作品が収められています。クラシックのみならず、ジャズやロックの世界でも活躍しているハーレの演奏をお楽しみ下さい。



### シューベルト： 歌曲集「美しき水車屋の娘」(全曲)

ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウ (バリトン)  
ジェラルド・ムーア (ピアノ)  
●1961年録音  
●WPCS-WPCS-28113

声楽曲

2017年リマスター

フィッシャー＝ディースカウにとっては2度目の「美しき水車屋の娘」の録音。歌詞の持つ響き、意味のニュアンスを重視した前作に比べ、よりスッキリとした、シューベルトのリートらしい世界が展開されています。伴奏者ムーアとの息もピッタリ。これこそが全盛期の歌声です。



### シューベルト： 歌曲集「冬の旅」(全曲)

ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウ (バリトン)  
ジェラルド・ムーア (ピアノ)  
●1962年録音  
●WPCS-WPCS-28114

声楽曲

2017年リマスター

20世紀最大のバリトン歌手、フィッシャー＝ディースカウが最も得意とした曲が「冬の旅」。7回におよぶ正規録音を残した、まさに「十八番」です。初のステレオ録音であるこのディスクは30代後半ということもあり、若さと充実感が同居した名唱です。



### シューベルト： 歌曲集「白鳥の歌」(全曲)

ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウ (バリトン)  
ジェラルド・ムーア (ピアノ)  
●1962年録音  
●WPCS-WPCS-28115

声楽曲

2017年リマスター

フィッシャー＝ディースカウにとっては2回目の「シューベルト3大歌曲集」からの1枚です。若さと円熟、どちらも備えた理想的な歌唱がここにあります。声の若々しさと柔軟性、熟達を感じさせる表現など、シューベルト歌曲の魅力のすべてが引き出されています。



✓	アーティスト名	曲名	品番 (WPCS)	ページ
ア	アルバン・ベルク四重奏団	モーツァルト: 弦楽四重奏曲 第14番 & 第15番	28054	6
	アルバン・ベルク四重奏団	モーツァルト: 弦楽四重奏曲 第16番 & 第17番「狩」	28055	6
	アルバン・ベルク四重奏団	モーツァルト: 弦楽四重奏曲 第18番 & 第19番「不協和音」	28056	7
	アルバン・ベルク四重奏団	モーツァルト: 弦楽五重奏曲 第3番 & 第4番	28057	7
	アルバン・ベルク四重奏団	ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第12番 & 第7番「ラズモフスキー第1番」(1989年ライブ)	28058	7
	アルバン・ベルク四重奏団	ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第8番「ラズモフスキー第2番」 & 第6番(1989年ライブ)	28059	7
	アルバン・ベルク四重奏団	ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第16番 & 第9番「ラズモフスキー第3番」(1989年ライブ)	28060	7
	アルバン・ベルク四重奏団	ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第1番 & 第10番「ハーブ」(1989年ライブ)	28061	7
	アルバン・ベルク四重奏団	ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第2番、第11番「セリオーソ」 & 第5番(1989年ライブ)	28062	7
	アルバン・ベルク四重奏団	ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第3番 & 第13番(1989年ライブ)	28063	7
	アルバン・ベルク四重奏団	ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第4番 & 第14番(1989年ライブ)	28064	8
	アルバン・ベルク四重奏団	ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第15番 / 大フーガ(1989年ライブ)	28065	8
	アルバン・ベルク四重奏団	ヤナーチェク: 弦楽四重奏曲 第1番「クロイツェル・ソナタ」 & 第2番「ないしょの手紙」	28066	8
	アルバン・ベルク四重奏団	ベルク: 弦楽四重奏曲 / 抒情組曲	28067	8
	アルバン・ベルク四重奏団	J. シュトラウス & ランナー: ワルツ & ポルカ集	28068	8
	アンリオ=シュヴァイツァー、ニコル (ピアノ)	オネゲル: 交響曲 第2番 / ラヴェル: ピアノ協奏曲	28051	6
イ	イッサリス、ステューヴン (チェロ)	タヴナー: 奇跡のヴェール / チェロのためのトリノス ブリテン: チェロ組曲 第3番	28105	12
ウ	ヴァルヒヤ、ヘルムート (チェンバロ)	J.S. バッハ: インヴェンションとシンフォニア	28084	10
	ヴァルヒヤ、ヘルムート (チェンバロ)	J.S. バッハ: イギリス組曲 (全曲)	28085/6	10
	ヴァルヒヤ、ヘルムート (チェンバロ)	J.S. バッハ: フランス組曲 (全曲)	28087/8	10
	ヴァルヒヤ、ヘルムート (チェンバロ)	J.S. バッハ: バルティータ (全曲)	28089/90	10
	ヴァルヒヤ、ヘルムート (チェンバロ)	J.S. バッハ: バルティータ 短調 / イタリア協奏曲 半音階的幻想曲とフーガ	28091	10
	ヴァルヒヤ、ヘルムート (チェンバロ)	J.S. バッハ: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻	28092/3	11
	ヴァルヒヤ、ヘルムート (チェンバロ)	J.S. バッハ: 平均律クラヴィーア曲集 第2巻	28094/5	11
	ウェルザー=メスト、フランツ (指揮)	ブルックナー: 交響曲 第7番 (ノーヴァク版)	28001	1
	ヴラトコヴィチ、ラドヴァン (ホルン)	モーツァルト: ホルン協奏曲 第1番~第4番 他	28110	12
オ	オーマンディ、ユージン (指揮)	シベリウス: 交響詩「4つの伝説曲」	28002	1
	オーマンディ、ユージン (指揮)	バルトーク: 組曲「中国の不思議な役人」 弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽	28003	1
カ	ガヴリーロフ、アンドレイ (ピアノ)	チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番	28072	8
	ガヴリーロフ、アンドレイ (ピアノ)	ラヴェル: 夜のガスバール / バラキレフ: イスラメイ リスト: ラ・カンパネラ 他	28073	9
	カポロンゴ、ポール (指揮)	ヴィラ=ロボス: ブラジル風のバッハ 第2番、第5番、第6番 & 第9番	28004	1
ク	クーベリック、ラファエル (指揮)	モーツァルト: 交響曲 第36番「リンツ」 & 第38番「プラハ」	28005	1
	クーベリック、ラファエル (指揮)	モーツァルト: 交響曲 第35番「ハフナー」 & 第41番「ジュビター」	28006	1
	クーベリック、ラファエル (指揮)	シューベルト: 交響曲 第7(8)番「未完成」 モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジーク 他	28007	1
	クーベリック、ラファエル (指揮)	チャイコフスキー: 交響曲 第4番	28008	1

✓	アーティスト名	曲名	品番 (WPCS)	ページ
ク	クーベリック、ラファエル (指揮)	チャイコフスキー: 交響曲 第5番	28009	2
	クーベリック、ラファエル (指揮)	チャイコフスキー: 交響曲 第6番「悲愴」	28010	2
	クリュイタンス、アンドレ (指揮)	フランク: 交響詩集	28011	2
	グリューエンバーグ、エリック (ヴァイオリン)	メシアン: 世の終わりのための四重奏曲 / 黒づくみ	28071	8
	クレームル、ギドン (ヴァイオリン)	ウェーバー: グランド・デュオ・コンチェルト シュニッケ: ヴァイオリン・ソナタ 第2番「クワジ・ウナ・ソナタ」他	28096	11
	クレツキ、パウロ (指揮)	プロコフィエフ: 交響曲 第5番	28012	2
	クレンペラー、オットー (指揮)	J. シュトラウスII世: ウィーン気質 / 喜歌劇「こうもり」序曲 / 皇帝円 舞曲 / フィル: 「小さな三文音楽」より / クレンペラー: メリー・ワルツ	28013	2
コ	コラーレ、ジャン=フィリップ (ピアノ)	ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 / バガニーニの主題による狂詩曲	28074	9
シ	シフラ、ジョルジ (ピアノ)	リスト: ピアノ協奏曲 第1番 & 第2番 / 死の舞踏 / ハンガリー幻想曲	28075	9
	シャルル・ミュンシュ (指揮)	オネゲル: 交響曲 第2番 / ラヴェル: ピアノ協奏曲	28051	6
	ジュリーニ、カルロ・マリア (指揮)	ストラヴィンスキー: バレエ「パトルーシュカ」組曲 (1947年版) バレエ「火の鳥」組曲 (1919年版)	28014	2
	シルヴェストリ、コンスタンティン (指揮)	ドヴォルザーク: 交響曲 第8番 / 序曲「謝肉祭」	28015	2
ス	スーク、ヨゼフ (ヴァイオリン)	J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ & バルティータ (全6曲)	28097/8	11
ツ	ツィンマーマン、フランク・ペーター (ヴァイオリン)	モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ K301、303、304 & 481	28099	11
	ツィンマーマン、フランク・ペーター (ヴァイオリン)	モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ K305、378、380 & 376	28100	11
	ツィンマーマン、フランク・ペーター (ヴァイオリン)	モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ K306、302、298 & 377	28101	11
	ツィンマーマン、フランク・ペーター (ヴァイオリン)	モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ K379、454 & 526	28102	11
テ	テツラフ、クリスティアン (ヴァイオリン)	ヤナーチェク、ドビュシー、ラヴェル 他: ヴァイオリン・ソナタ集	28103	12
	デルヴォー、ピエール (指揮)	シャルパンティエ: 組曲「イタリアの印象」 マスネ: 絵のような風景	28016	2
ト	ド・ペイエ、ジェルヴァーズ (クラリネット)	メシアン: 世の終わりのための四重奏曲 / 黒づくみ	28071	8
ハ	ハーレ、ジョン (サクソフォン)	サクソフォン協奏曲集	28112	13
	バーンスタイン、レナード (指揮)	ミヨー: バレエ「世界の創造」 / ブラジルの郷愁 (抜粋) バレエ「屋根の上の牡牛」	28022	3
	ハチャトゥリアン、アラム (指揮)	ハチャトゥリアン: バレエ「ガイーヌ」 (抜粋) バレエ「スバルタクス」 (抜粋)	28017	3
	バルエコ、マヌエル (ギター)	J.S. バッハ: ソナタ BWV1001、1003 & 1005 (ギター編曲版)	28109	12
	バルビローリ、ジョン (指揮)	グリーグ: 劇付随音楽「ペール・ギュント」 (抜粋)	28018	3
	バルビローリ、ジョン (指揮)	エルガー: エニグマ変奏曲 / コケイン序曲	28019	3
	バルビローリ、ジョン (指揮)	イギリス弦楽合奏作品集	28020	3
	バルビローリ、ジョン (指揮)	シェーンベルク: 交響詩「ペレアスとメリザンド」	28021	3
	バレンボイム、ダニエル (ピアノ)	ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」	28076	9
	バレンボイム、ダニエル (ピアノ)	ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第4番	28077	9
	バレンボイム、ダニエル (ピアノ)	バルトーク: ピアノ協奏曲 第1番 & 第3番	28078	9
ヒ	ビーチャム、トーマス (指揮)	ディーリアス: 管弦楽曲集	28023/4	3
フ	フィッシャー=ディースカウ、ティートリヒ (バリトン)	シューベルト: 歌曲集「美しき水車屋の娘」 (全曲)	28113	13
	フィッシャー=ディースカウ、ティートリヒ (バリトン)	シューベルト: 歌曲集「冬の旅」 (全曲)	28114	13
	フィッシャー=ディースカウ、ティートリヒ (バリトン)	シューベルト: 歌曲集「白鳥の歌」 (全曲)	28115	13

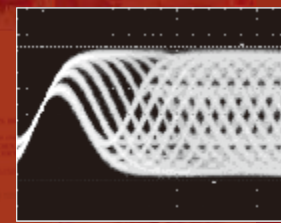
✓	アーティスト名	曲名	品番 (WPCS)	ページ
	フ	ブラッソフ、ミシェル (指揮)	ベルリオーズ: 交響曲「イタリアのハロルド」 歌劇「ベンヴェヌート・チェルリーニ」序曲/序曲「ウェーヴァリー」	28025 3
		ブラッソフ、ミシェル (指揮)	ビゼー: 交響曲 八長調 / 組曲「ローマ」/ 序曲「祖国」	28026 4
		ブラッソフ、ミシェル (指揮)	ショーンソフ: 交響曲 / 交響詩「祭りの夕べ」 交響詩「ヴィヴィアンヌ」	28027 4
		フランソワ、サンソン (ピアノ)	ショパン: ピアノ・ソナタ 第2番「葬送」& 第3番	28079 9
		ブリース、ウィリアム (チェロ)	メシアン: 世の終わりのための四重奏曲 / 黒つくみ	28071 8
		フリーベック・デ・ブルゴス、ラファエル (指揮)	ファリャ: 祭りの踊り/トゥリーナ 交響詩「幻想舞曲集」 アルベニス 組曲「イベリア」より 他	28028 4
		ブレイン、デニス (ホルン)	R. シュトラウス: ホルン協奏曲 第1番 & 第2番 ピンデミット: ホルン協奏曲	28111 12
		ブレヴィン、アンドレ (指揮)	チャイコフスキー: バレエ「くるみ割り人形」(全曲)	28029/30 4
		ブレヴィン、アンドレ (指揮)	シベリウス: 交響曲 第2番	28031 4
		ブレヴィン、アンドレ (指揮)	R. シュトラウス: アルプス交響曲 / 交響詩「ドン・ファン」 他	28032/3 4
		ブレヴィン、アンドレ (指揮)	メシアン: トゥーランガリラ交響曲	28034/5 4
		ブレヴィン、アンドレ (指揮、ピアノ)	ガーシュウィン: ラプソディ・イン・ブルー / バリのアメリカ人 ピアノ協奏曲 へ調	28036 4
	へ	ベルグルンド、パーヴォ (指揮)	シベリウス: 管弦楽曲集	28037 5
		ペロフ、ミシェル (ピアノ)	メシアン: 世の終わりのための四重奏曲 / 黒つくみ	28071 8
	ホ	ボスコフスキー、ウィリー (指揮)	ワルトイフェル作品集	28038 5
		ボスコフスキー、ウィリー (指揮)	リスト: ハンガリア狂詩曲 第2番、第3番 & 第5番 他	28039 5
		ポロディン弦楽四重奏団	ショスタコーヴィチ: 弦楽四重奏曲 第2、3、7、8 & 12番	28069/70 8
	マ	マリ、ジャン=パティスト (指揮)	ドリーブ: バレエ「コッペリア」(全曲)	28040/1 5
		マリ、ジャン=パティスト (指揮)	ドリーブ: バレエ「シルヴィア」(全曲)	28042/3 5
		マリ、ジャン=パティスト (指揮)	狂詩曲「スペイン」～シャブリエ管弦楽曲集	28044 5
		マルティノン、ジャン (指揮)	ベルリオーズ: 幻想交響曲	28045 5
		マルティノン、ジャン (指揮)	ドビュッシー: 管弦楽曲集	28046/7 5
		マルティノン、ジャン (指揮)	デュカス: 交響曲 八長調 / オネゲル: 夏の牧歌 他	28048 6
		マルティノン、ジャン (指揮)	イベール: 祝典序曲 / 交響組曲「寄港地」 架空の愛へのトロビスム	28049 6
		マルティノン、ジャン (指揮)	オネゲル: パシフィック231 / ラグビー / 夏の牧歌 クリスマス・カンタータ	28050 6
	ミ	ミケランジェリ、アルトゥーロ・ベネデッティ (ピアノ)	ハイドン: ピアノ協奏曲 二長調 / 同 長調	28080 9
		ミュンシュ、シャルル (指揮)	ラヴェル: ポレロ / スペイン狂詩曲 「ダフニスとクロエ」組曲 第2番	28052 6
	メ	メニューイン、ユーディ (ヴァイオリン)	バルトーク: ヴァイオリン協奏曲 第1番 / ヴィオラ協奏曲	28104 12
	リ	リヒテル、スヴャトスラフ (ピアノ)	ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第3番 / アンダンテ・ファヴォリ	28081 10
		リヒテル、スヴャトスラフ (ピアノ)	シューベルト: ピアノ五重奏曲「罇」	28082 10
	ロ	ロストロポーヴィチ、ムスティスラフ (チェロ)	J.S. バッハ: 無伴奏チェロ組曲 (全曲)	28106/7 12
		ロストロポーヴィチ、ムスティスラフ (チェロ)	シューマン: チェロ協奏曲 / プロットホ: シェロモ	28108 12
		ロレール、ジェレミー (指揮)	モーツァルト: 交響曲 第29番、第25番 & 第26番	28053 6
	ワ	ワイゼンベルク、アレクシス (ピアノ)	ショパン: アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 「お手をどうぞ」の主題による変奏曲 / クラコヴィアク 他	28083 10



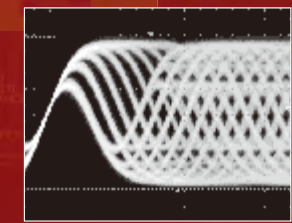
# 高音質CDの決定版 Ultimate Hi Quality CD

## UHQCDとは

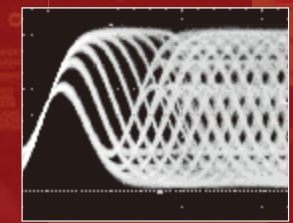
- 新開発の製法により、従来の高音質ディスクよりさらに原盤に忠実な音を再現。
- CD規格に準拠。全てのCDプレーヤーでお楽しみいただけます。
- 最高性能のクリスタルディスクに迫る高音質を手軽にお楽しみいただけます。  
※高音質とはマスタークオリティの再現性の高さを意味します。



【通常CD】



【HQCD】



【UHQCD】

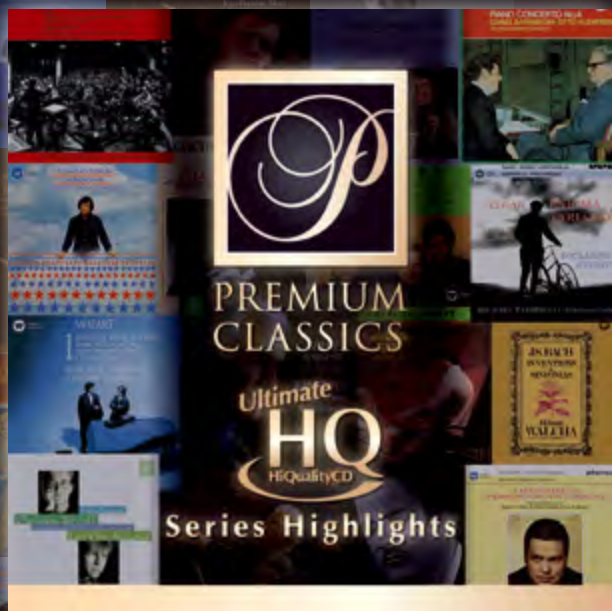
新製法の微細ビット転写技術と反射膜に特殊合金を採用することで、HQCDよりさらにUHQCDの方が反射率が高くなり、ディスクのビット情報の読取精度が飛躍的に向上しています。CDのビット情報を読み取った「HF波形」を観察してみるとUHQCDの方がより振幅が大きくなり、短ビットから最長ビットまでを示す「波形の網目」をより鮮明に観ることができます。これは、カッティングスタンパーに対して、より忠実に複製され、且つ読取精度が向上していることを意味しており、マスタークオリティに極めて近いサウンドを再現しているものと考えています。  
※音質の比較の差は再生環境に影響されます。

詳細は <http://hqcd.jp>

HQ はメモリーテック(株)の商標です。



「プレミアム・クラシックス(UHQCD)」シリーズでのUHQCDプレスと、  
 同音源を収録したCDプレスを合わせた**2枚組**、  
 その音質をクリアに**聞き比べ**できる**ハイライト盤**



## 「プレミアム・クラシックス(UHQCD)」 シリーズ・ハイライト

2017年4月19日発売

**UHQCD/CDの2枚組** 価格: **¥1,000** (本体) + 税  
 WPCS-13663/4 ● デュオケース、4Pブックレット (UHQCD説明文入り)

**DISC 1 UHQCD**

**DISC 2 通常盤CD**

※DISC 1, 2ともに同じ音源が収録されています。  
 収録時間: 約59分半

- ① ウェルザー=メスト/ブルックナー: 交響曲第7番 第1楽章 (fo) (WPCS-28001-■)
- ② オーマンディ/シベリウス: トゥオネラの白鳥 (WPCS-28002-■)
- ③ カポロンゴ、メスプレ/ヴィラ=ロボス: ブラジル風のバツハ 第5番 アリア (WPCS-28004-■)
- ④ クーベリック/チャイコフスキー: 交響曲 第5番 第3楽章 (WPCS-28009-■)
- ⑤ クレンペラー/ワイル: メッキー・メッサーのモリタート (WPCS-28013-■)
- ⑥ ジュリーニ/ストラヴィンスキー: バレエ「火の鳥」(1919年版) 組曲 終曲 (WPCS-28014-■)
- ⑦ ハチャトゥリアン/ハチャトゥリアン: 剣の舞 (WPCS-28017-■)
- ⑧ バルビローリ/ヴォーン・ウィリアムズ: グリーンズリーヴズによる幻想曲 (WPCS-28020-■)
- ⑨ ビーチャム/ディーリアス: 春初めてのカッコウを聞いて (WPCS-28024-■)
- ⑩ ブラッソン/ビゼー: 交響曲 八長調 第1楽章 (WPCS-28026-■)